

組織・グループ名	横浜兄弟姉妹の会 げんき会（通称横浜げんき会）
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般助成 〔<u>当事者活動支援</u> 福祉の学び推進・地域福祉ニーズ(課題)対応・地域福祉コミュニティ構築 〕</li> <li>● 協働事業助成 〔 1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動 〕</li> </ul>
助成事業名	ピア活動を知る。

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

### （目的）

毎月、定例会を実施しておりますが、会員から下記のような意見が出ました。

「ピア活動を熱心に行っている団体と交流をし、精神障害を抱えながらも社会でどのような活動をされているか、また、兄弟姉妹とのかかわりについて聞いてみたい。」というものでした。時として内に秘めてしまい、きょうだいの関わりが悪循環を生んでしまいがちな私たちにとって、身内以外の方々の生き方に触れ、刺激を受けることは貴重な体験となり、支援するうえで新たな気づきをすることができます。

### （概要）

① シンポジウム：ピア活動の具体的な内容を知るとともに仲間との出会い、社会資源の活用など現在の生活について当事者2名に語っていただきました。また、兄弟姉妹の立場での発言もあり、体験を共有できる場となりました。

### ②意見交換会

### （成果・参加者の様子）

地域でピア活動をしている当事者の方々の話を聞くことで、きょうだいの発病を悲観するばかりでなく現状を受け入れることから関わりが始まることを再認識しました。また、回復することで人としての尊厳を持ち、生活していくことができることも知りました。身近にいる支援者として明るい未来を感じることができ、前向きに生きていく活力にも繋がりました。

参加者からは「ピア活動を通しての仲間作り、活動を通じての病気の回復など貴重な話を聞くことができた。」「働くことがゴールではないという当事者の方の言葉が印象的であった。」「きょうだいの発言には、共感できた。大勢の前で体験を話すことがいかに大変か再認識した。」との声が挙がっていました。また、横浜市内でグループホームの設置反対運動などの情報提供もあり、精神障害に対する偏見が未だに根強いことを痛感しました。

### （今後の展望）

参加者がシンポジウムをきっかけに、自らが抱えている課題に意欲的に取り組む姿勢を感じることができました。今後は各々が抱えている問題点を解決するため、勉強会を企画し、当事者とともにほどよい距離をもち、ともに生きていくことを目指していきます。

